

自然庭づくり入門.....

シェアリングアース協会代表 藤本 和典氏

庭の匂を愉しむ... 生き物たちと共生する ガーデニング

豊かな自然を愉しむ暮らしを“自分のまわりから始めてみよう”のプランニングを、エクステリアをお手掛けの皆さんから施主様に発信していただくために、今回は生き物ネットワークを力強いものにする工夫をご案内いたします。

庭にくる鳥たち

東京板橋の私の実家では、庭先に鳥を呼んで30年以上になります。昨年大雪の日にハクセキレイがベランダのパンくずを食べにきたのを加えると23種の鳥が記録されました。でも周辺の緑が減ったのをさかいに10年ほど前からオナガはまったく来なくなってしまいました。以前は緑がありましたが、コンクリートや新建材の集合住宅や駐車場が増えたからでしょう。でも狭い庭ながらジョウビタキ、ウグイス、メジロ、カワラヒワ、ツグミ、ヒヨドリ、キジバトなどは毎日やってきて、高齢の父母が餌や水をやり、母などは観察記録を楽しくつけています。

老人ケアの庭づくり

(財)日本野鳥の会・インフォメーションセンターの責任者を数年務めたことがあります。電話やお手紙で様々な質問がありましたが、忘れられないことがひとつ...野鳥の会の会員だったおばあちゃんが寝たきりになり、ご家族から「なにか好きな野鳥を見せる方法はないでしょうか」と電話がありました。メジロが特にお好きだとお聞きしたので、窓辺にメジロがやってくるフィーダー（餌入れ）を置き、お庭にカンツバキやヤブツバキをたくさん植えることをおすすめしました。

なんと、メジロはすぐに訪れ、10~20羽も目の前にやってきました。おばあちゃんは身体を起こすようになり表情も明るくなったそうです。



緑と水を取り入れた環境共生型の集合住宅



シェアリングアース協会代表 藤本 和典氏
1951年東京生まれ。NHKラジオ科学子ども相談室に出演。日本野鳥の会に10年勤務。その後、シェアリングアース協会を設立し、自然観察ガイドで活躍。小さな頃から昆虫好きで野鳥好き。「少年がそのまま大人になった感じ」といわれる。野鳥にかぎらず、すべての自然観察ガイドの第一人者である。コスタリカのエコ・ツアーを日本に紹介された。著書に『身近な自然のつくり方』（講談社）『週末自然観察入門』（山と溪谷社）『庭に鳥を呼ぶ本』（文一総合出版）等がある。



流れのある水辺は生き物が大好きなところ



パンくず、ヒマワリの種・くだものを入れた様々なフィーダー

生き物を呼ぶ庭づくり

生き物ネットワークづくりは先ず緑の準備です。...前回お話ししたように、外国のものや品種改良した観賞用の植物ではなく、地域に昔から雑木林などに生えている植物です。例えばサンショウ、ガマズミ、ムラサキシブキ、ニシキギ、ヒサカキなど、実のつく木が好まれます。サクランボやヤマザクラを植えれば、豊にサクランボが付き、ムクドリなどの雛が育つところにはおしかけてくるでしょう。品種改良されたソメイヨシノや八重桜は、結実がわずかです。次に水の用意が大切です。街ではきれいな水がありません。小鳥たちは羽毛を清潔にするために1日4~5回も水浴びをします。小鳥が立てるような浅い岸辺のある池をつくらば最適ですが、生け花用の水盤や植木皿でもかまいません。池をつくるなら、水草を植え、流れをつくらばたくさんの生き物を呼べます。少しでも、できることから、自然にやさしいお庭づくりを始めていただければ、自然を守る次世代の環境づくりにつなげていくことになります。

庭に毎冬やってくるジョウビタキ



U.Style & メロディア プランニングコンテスト 入賞作品発表

コンテスト総評

審査委員長 笠島孝至氏

美しい街並は一軒一軒の美しい住宅のエクステリアファサードの連なりによってでき上がってゆくのではないのでしょうか。又、それはエクステリアを構成する美的な部材とそれを洗練されたセンスで使いこなすプランナーの技と言えるでしょう。この度のコンテストはエントランスとカースペースの為のユニバーサル・エントランス・システム「Uスタイル」とボーダーエリアのためのエクステリア・ファサード・システム「メロディア」を駆使して、街並に対してどのような新しい空間を創出出来るか、と言う事でした。そういった狙いに対し、多くの作品が寄せられ、各プランナーの皆様のアイデアには、感動させられたり、日ごろ街並に対して問題意識を持ち、責任感を感じながら、プランニングされているのが惚れました。「Uスタイル」の特徴である自由度の高いシェルター空間はその軽快感のあるデザインと浮遊感ある屋根により街並を明るくリズムカルにし、又、フロントヤードを立体的に構成できる「メロディア」のエレメントは文字通り、街並にメロディを奏でていました。街の通りは、家と家、場と場を、ただ繋ぐための空間ではなく、何となく目的もなく歩くだけで楽しい、街並とはそうあって貰いたい、と思います。



笠島 孝至氏プロフィール
環境造形デザイナー
株式会社スーパープランナーズ代表取締役
1970年-千葉大学工業意匠学科卒業
1971年-早稲田大学建築専修学部で学ぶ
1975年-株式会社スーパープランナーズ設立
東京サミット等のイベント会場デザイン、店舗及び住宅設計、造園デザイン等を手がける。

ベストプラン賞(別表部門) (株)景匠館 四国営業所

部門	賞別	受賞者	所在地
A 街並部門	金賞	(有)横山工業	埼玉県さいたま市
	銀賞	(株)武蔵野総業	埼玉県新座市
	銅賞	デザイン・アーケ・マツモト	滋賀県大津市
	銅賞	大和ハウス工業(株)東京本店	東京都千代田区
B 都狭小地部門	金賞	大和ハウス工業(株)東京本店	東京都千代田区
	銀賞	アベ建材(株)	静岡県浜松市
	銅賞	(有)辻商	大阪府堺市
	銅賞	住友林業緑化(株)	東京都世田谷区
C 変形敷地部門	金賞	(株)アウトテリアホーム	福島県福島市
	銀賞	(株)春光園	福島県福島市
	銅賞	(株)メスターホームサービス	三重県久居市
	銅賞	富士工営(株)	群馬県前橋市
C 郊外型	金賞	(株)グリーンケア	宮城県仙台市
	銀賞	(株)春光園	福島県福島市
	銅賞	加々見園	静岡県三島市
	銅賞	(株)リパークロス工房	東京都杉並区
特別賞	銅賞	(有)丹羽エクステリア	愛知県一宮市
特別賞	銅賞	(有)天新	兵庫県播磨郡

(敬称略)

ベストプラン賞 街並部門 (株)景匠館 四国営業所

その「通り」がどのように計画された街並かは街全体の価値を決めるひとつの重要な要素です

街並にとって、その「通り」がどのように計画されているかは、街全体の価値をも決めかねない重要な要素です。「通り」という空間が、家と家、家と街とを繋ぐだけの通路としての意図でしか処理されていない街には、そこに住まう人々の街への愛着もわかず、ただ行き先に向かって、早足で通り過ぎる場だけでしか無くなるでしょう。目的を持たずぶらぶら歩く事が楽しく、そのような快適スペースとしての街並は、生き生きとした街を創り上げ、そこに住む人々にとって、街に住む喜びと誇りを生み、住む事が楽しいと思われる街になるでしょう。この作品で意図された街並には、そこをただ自由に歩くことが楽しい事を大切に計画しているのが感じ取れます。Uスタイルとメロディアが街並のために提案しているところの「個性と調和」という製品テーマをみごとに表現した秀作であり又力作でもあります。メロディアのパネルによる各家と通りのボーダーエリアは高低差、前後関係メッシュ部の粗とパネル部の密とを巧みに利用してリズムカルでうきうきするような空間を作り上げています。また、Uスタイルが持つ単なるカーポートとしてのシェルターではない製品特徴を生かし、各家のゲート、機能門柱としての使い方は美しく又、素敵な街並を創っています。



ベストプラン賞受賞者のひとこと

『Uスタイル』は設計の自由度が高くなるうえに、平面的に終わらず、カーポートの上の空間までデザインできるのが大きなメリットです。さらに、両サイドに門柱が立ち、その上に梁をのせる『フライングバットレス』とUスタイルを組み合わせたのも魅力です。カーポートとファサードが一体化して格調のあるエクステリアが演出できるので、これからはこういったデザインを広く提案していこうと考えています。

株式会社 景匠館様